

踏

青



著者略歴

吉川翠風

本名：利雄 雅号：利洲・翠石

住所：神奈川県大磯町生沢1, 176

☎0463-72-0317

昭和23年官立東京農林専門学校(現国立東京農工大学)卒
村山古郷・高桑義生に師事。

俳人協会々員・嵯峨野同人・鳴立庵同人

日本植物研究会々員・書道奨励協会々員

主要著書：句集：『石落の花』・『相模野』

随筆：『一木一草の記』・『相模野植物記』・『続相模野植
物記』・『萬葉草木譜』

その他：『大磯鷹取山の植物』・『みぢかにある有毒植物』
『家庭菜園入門』など

踏 青

昭和六十二年三月十五日

定 価 二、二〇〇円

著 者 吉川翠風

発行者 山田恒雄

発行所 丸井図書出版株式会社

〒220 横浜市西区北幸一―四―一

横浜天理ビル21F

☎〇四五(三一九)三二八四

振替口座 横浜七―五二八〇六

TOSHIO YOSHIKAWA PRINTED IN JAPAN

0045-8703-7974

句集

踏
青

吉川翠風

青き踏む

ふまざる方

経
万
かり



目次

初富士	9
踏青	19
絵風鈴	67
稲架襖	121
虎落笛	167
あとがき	201

初
富
士

初富士の空を仰ぎて安らげり

偽らぬわが顔うつす初鏡

黎明の富士の嶺晴れて初明り

初明り鳩の翅音の塔よぎる

長男の結婚の日きまる（四月廿一日）

初 曆 ま づ 書 き こ み て 吾 子 の 婚

妻 の 座 に い つ も 水 音 嫁 が 君

風の音静かな日なり若菜摘む

万葉の心に還り薺打つ

蔵花千代を長男幸夫の嫁として迎える

女手をひとり加えて寝正月

寝正月停年音もなく迫る

平凡に妻との朝餉福寿草

民謡を口ずさむ妻小正月

福寿草はづして光るネックレス

初辨天和服が似合ふ隣の娘